

## 1 4 藻 類

### カワノリ

*Prasiola japonica* Yatabe

緑藻植物門カワノリ科

三重県：VU

旧県：

環境省：VU

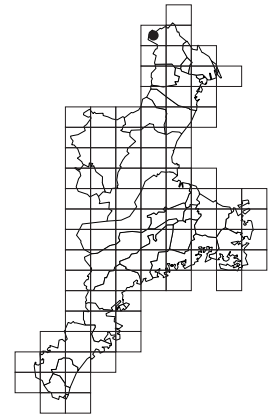
**選定理由：** 既知の生育地点数は1であり、現存生育量は減少傾向にある。

**種の概要：** 植物体は薄い膜状で長さ10～20 cm，幅4～6 cmになり1層の細胞層よりなる。細胞は4個ずつ1群となって配列する。細胞は楕円球形で直径4～7  $\mu\text{m}$ ，長さ9～12  $\mu\text{m}$ ，葉緑体は1個で星状で、中央に1個のピレノイドを含む。成熟するとモザイク状に雌性配偶子ノウ群を形成する。雌雄配偶子ノウは分裂式16 (a/2, b/2, c/4) であり、雄性配偶子は63 (a/2, b/4, c/8) か128 (a/4, b/4, c/8) に分裂する。

**分 布：** 日本固有種であり、本州では栃木県箒川を北限として、四国、九州に至る溪流に生育する。県内ではいなべ市に生育する。

**現況・減少要因：** 水中に生育するため近年の集中豪雨によって生育量は大きく変動する。また生育河川には県道306号線からのゴミの不法投棄により水質汚染が進行。着生基盤となる岩石の条件が悪化。減少や消滅の危険性が大きくなっている。

**保護対策：** カワノリ生育地は「藤原河内谷自然環境保全地域」として、1978年に三重県自然環境保全地域として指定されている。従って、生育環境の保全について積極的に対策を講ずることが急務である。



(葛山博次)

## 文 献

岩本康三. 1984. 日本におけるカワノリの分布. 藻類, 32(2): 167-185.

葛山博次. 1962. カワノリについて. 北伊勢地方の自然. 30. 三岐鉄道株式会社. 三重県教育委員会.

葛山博次. 1975. カワノリ. 藤原岳の植物. 46. 中日新聞本社

葛山博次・清水実. 1984. 自然環境保全基礎調査, カワノリの生態. 鈴鹿山脈北部石灰岩地域自然科学調査報告書. pp. 53-67. 藤原自然科学館.

維管束  
植 物

蘚苔類

藻 類

キノコ

EX

EW

CR

EN

VU

NT

DD